

令和5年10月19日
 島根県芸術文化センター「グラントワ」
 島根県立いわみ芸術劇場
 文化事業課 担当：新田
 総務広報課 担当：栗山
 電話：0856-31-1860 Fax：0856-31-1884

MUSEUM×THEATER ミューシア VOL. 20
 「オブジェクト・ラブ・ストーリー」の開催について

公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）では、MUSEUM×THEATER ミューシア VOL. 20「オブジェクト・ラブ・ストーリー」を開催します。

ミューシアは全国でも珍しい劇場と美術館の複合施設である「グラントワ」の特性を生かすべく、劇場と美術館が共同で企画を実施することにより企画制作・技術力向上につなげるとともに、様々な実演芸術やアートへの理解を深めてもらう機会として行う事業です。今回は、企画展「建築家・内藤廣/Built と Unbuilt 赤鬼と青鬼の果てしなき戦い」関連企画として、新進気鋭の劇作家・演出家の山本卓卓（やまもとすぐる）氏が書き下ろした台本をもとに、グラントワの屋根や壁、ベンチなどのモノ（＝オブジェクト）が感情や記憶、まちの歴史などをつぶやくドラマ・インスタレーションを開催します。来場者は虫メガネとマップを片手に館内を歩きながらストーリーを追うという内容になります。

つきましては、ご多忙とは存じますが、取材及び報道方よろしくお願いたします。

記

MUSEUM×THEATER ミューシア VOL.20
 「オブジェクト・ラブ・ストーリー」

◆10月28日（土）～12月25日（月）

会場／島根県芸術文化センター「グラントワ」（館内公共スペース）

料金／無料

オブジェクト・ラブ・ストーリーの楽しみ方

- ① グラントワへ到着したら、まずは総合案内カウンター前に設置してある本とマップを手に入れましょう。
- ② 展示と本を番号順に読み進めると、物語として繋がる仕掛けになっています。
- ③ マップの順序どおりにグラントワを探検し、あちこちに展示してある「モノ」が話す言葉を追いかけてみてください。展示される文字は小さく、見つけにくくなっています。本と一緒に設置してある虫めがねをご利用ください。



<作・演出>

■山本卓卓

劇作家・演出家。範宙遊泳代表。1987年山梨県生まれ。幼少期から吸収した映画・文学・音楽・美術などを芸術的素養に、加速度的に倫理観が変貌する現代情報社会をビビッドに反映した劇世界を構築する。オンラインをも創作の場とする「むこう側の演劇」や、子どもと一緒に楽しめる「シリーズ おとなもこどもも」、青少年や福祉施設に向けたワークショップ事業など、幅広いレパートリーを持つ。アジア諸国や北米で公演や国際共同制作、戯曲提供も多数。『少女X』でBangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を、『バナナの花は食べられる』で第66回岸田國土戯曲賞を受賞。公益財団法人セゾン文化財団フェロー。

<関連企画>

■範宙遊泳「バナナの花は食べられる」<映像上映>

日時／11月3日（金・祝）13:30～16:30

会場／いわみ芸術劇場小ホール

料金／無料

■山本卓卓トーク「オブジェクト・ラブ・ストーリー」を語る

日時／11月11日（土）14:00～15:00

会場／いわみ芸術劇場大ホールホワイエ（島根県芸術文化センター「グラントワ」内）

料金／無料

<その他～取材について>

- ・取材の際は、基本的な感染症対策にご協力ください。
- ・取材の際には腕章をお願いいたします。
- ・カメラ撮影はノーフラッシュをお願いいたします。
- ・取材をご希望の方は、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

主催：島根県立石見美術館／公益財団法人しまね文化振興財団（いわみ芸術劇場）

協力：KAAT 神奈川芸術劇場

*当事業は2022年5月1日～6月5日の期間、KAAT 神奈川芸術劇場にて開催された「オブジェクト・ストーリー」をもとに新たに制作しました。